

東

2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月3日

上場会社名 科研製薬株式会社 上場取引所

コード番号 4521 URL http://www.kaken.co.jp/

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)堀内 裕之

問合せ先責任者(役職名)総務部長 (氏名)近藤 和宏 TEL 03-5977-5002

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四 半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	57,082	18.7	14,949	33.4	15,347	32.8	10,934	29.7
2020年3月期第3四半期	70,178	3.3	22,432	12.7	22,829	12.7	15,554	9.2

(注)包括利益 2021年3月期第3四半期 12,256百万円 (21.9%) 2020年3月期第3四半期 15,703百万円 (13.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第3四半期	282.69	
2020年3月期第3四半期	396.67	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	160,627	131,983	82.2
2020年3月期	157,875	128,468	81.4

(参考)自己資本 2021年3月期第3四半期 131,983百万円 2020年3月期 128,468百万円

2. 配当の状況

	年間配当金								
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計				
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭				
2020年3月期		75.00		75.00	150.00				
2021年3月期		75.00							
2021年3月期(予想)				75.00	150.00				

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年 3月期の連結業績予想(2020年 4月 1日~2021年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業和	川益	経常和	川益	親会社株主に 当期純		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	77,200	13.5	18,100	31.7	18,500	31.3	13,400	30.8	349.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 - (注)詳細は、添付資料8ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 期末自己株式数 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	45,939,730 株	2020年3月期	45,939,730 株
2021年3月期3Q	7,621,015 株	2020年3月期	7,022,576 株
2021年3月期3Q	38,678,904 株	2020年3月期3Q	39,213,914 株

(注)期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式が含まれております(2021年3月期3Q 39,400株、2020年3月期41,100株)。また、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2021年3月期3Q 40,099株、2020年3月期3Q 5,829株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大き〈異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明,をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信とあわせて、当社ホームページに掲載する予定であります。

添付資料の目次

1.	当匹]半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
	(1)	経営成績に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
	(2)	財政状態に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2.	四半	半期連結財務諸表及び主な注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	(1)	四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
		四半期連結損益計算書	
		第3四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
		四半期連結包括利益計算書	
		第3四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
	(3)	四半期連結財務諸表に関する注記事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
		(継続企業の前提に関する注記)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
		(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
		(セグメント情報)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、減収減益となりました。売上高は57,082百万円(対前年同期比18.7%減)となり、その減少の主たる要因としては、薬価改定の影響及び新型コロナウイルス感染症拡大による医療機関への受診抑制等の影響があげられます。

利益面では、売上高の減少により、営業利益は14,949百万円(対前年同期比33.4%減)、経常利益は15,347百万円(対前年同期比32.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10,934百万円(対前年同期比29.7%減)となりました。なお、研究開発費につきましては4,862百万円(対前年同期比2.6%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①薬業

医薬品・医療機器につきましては、関節機能改善剤「アルツ」、爪白癬治療剤「クレナフィン」の売上減少などにより減収となりました。その背景としましては、薬価改定や新型コロナウイルス感染症拡大による医療機関への受診抑制の影響などがあげられます。

農業薬品につきましては増収となりました。

この結果、売上高は 55,310 百万円(対前年同期比 19.1%減)、セグメント利益(営業利益)は 13,899 百万円(対前年同期比 34.8%減)となりました。

なお、海外売上高は3,372 百万円(対前年同期比44.7%減)となりました。

②不動産事業

不動産事業の主たる収入は文京グリーンコート関連の賃貸料であります。売上高は 1,772 百万円(対前年同期比 0.9%減)、セグメント利益(営業利益)は 1,049 百万円(対前年同期比 4.7%減)となりました。

<新型コロナウイルス感染症の拡大への当社グループの対応及び事業・業績への影響>

新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大する中、当社グループは、高品質な医薬品を安定的に供給することを社会的使命と考えております。取引先企業とも連携し、安定供給は維持されており、現時点においても当社医薬品の生産及び医療機関への供給体制に支障を来すような事態は生じておりません。今後も社員の感染予防・健康管理などを徹底し、感染拡大防止に配慮したうえで安定供給に向けて最善を尽くしてまいります。

当社グループの取り組みに関わらず、新型コロナウイルス感染症による影響が当社の想定を超えて深刻化、長期化した場合には、医薬品の供給体制や研究開発活動にも影響が生じたり、それらが繰り返される可能性があります。また、新型コロナウイルス感染症の流行拡大が減速または収束した場合であっても、当社グループの事業活動、財政状態及び経営成績に対して、一定期間継続して影響を及ぼす可能性があります。

(実施している感染防止対策)

新型コロナウイルス対応本部を設置し、フレックスタイム制度や時差出勤、在宅勤務、発熱(37 度以上が目安)等があった場合の出勤自粛等の感染症対策を講じております。また、医薬情報担当者(MR)等の情報提供活動に関しましては、デジタルツール等も活用し、医療関係者のニーズに合わせて実施しております。なお、医療機関に訪問する際は、十分な感染防止対策を講じております。

(業績への影響)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う医療機関への受診抑制などにより、当社グループの業績に影響が生じており、今後も継続して影響が生じることを想定しております。

(研究開発活動への影響)

患者さんや治験実施医療機関の安全性確保と負担軽減を最優先して治験を実施しております。一部の 医療機関においては治験業務の遅延等が発生しておりますが、現時点でスケジュールに大きな遅延はあ りません。

以上のように、当社グループの事業活動・業績が新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けておりますが、今後もフレックスタイム制度や時差出勤、在宅勤務、ICT(情報通信技術)を活用したリモートワーク環境の整備・拡充を積極的に行うことによって、働き方改革を推進し、生産性の向上に取り組んでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は160,627百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,752百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

負債は28,643 百万円となり、前連結会計年度末に比べ762 百万円の減少となりました。これは主に、 未払法人税等の減少によるものであります。

また、純資産は131,983 百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,514 百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

自己資本比率は、82.2%(前連結会計年度末81.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、売上高は薬価改定の影響や医薬品輸出、特許料収入の減少、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う医療機関への受診抑制などにより、減収を見込んでおります。利益につきましては売上高の減少に伴い、減益となる予定であります。連結売上高は77,200百万円、営業利益は18,100百万円、経常利益は18,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は13,400百万円を見込んでおります。2020年10月27日に公表した業績予想は変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59, 722	55, 072
受取手形及び売掛金	21, 800	26, 470
有価証券	13, 599	13, 599
商品及び製品	4, 762	6, 817
仕掛品	2, 829	2, 733
原材料及び貯蔵品	4, 683	5, 016
その他	938	643
貸倒引当金	$\triangle 0$	$\triangle 0$
流動資産合計	108, 336	110, 354
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16, 764	16, 148
その他(純額)	8, 753	8, 877
有形固定資産合計	25, 518	25, 025
無形固定資産	414	704
投資その他の資産		
投資有価証券	15, 036	16, 709
その他	8, 569	7, 833
投資その他の資産合計	23, 605	24, 543
固定資産合計	49, 538	50, 273
資産合計	157, 875	160, 627

(単位:百万円)

	(単位:			
	前連結会計年度 (2020年 3 月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)		
負債の部				
流動負債				
支払手形及び買掛金	7, 720	8, 135		
電子記録債務	962	159		
短期借入金	3, 850	3, 850		
未払法人税等	2, 904	2,071		
引当金				
賞与引当金	1, 082	507		
その他の引当金	410	352		
その他	4, 724	5, 962		
流動負債合計	21, 655	21, 039		
固定負債				
株式給付引当金	47	35		
退職給付に係る負債	7, 303	7, 205		
その他	400	363		
固定負債合計	7, 750	7, 604		
負債合計	29, 406	28, 643		
純資産の部				
株主資本				
資本金	23, 853	23, 853		
資本剰余金	11, 406	11, 406		
利益剰余金	114, 869	119, 991		
自己株式	△23, 373	△26, 303		
株主資本合計	126, 756	128, 948		
その他の包括利益累計額				
その他有価証券評価差額金	3, 116	4, 276		
退職給付に係る調整累計額	△1, 404	△1, 241		
その他の包括利益累計額合計	1, 712	3, 035		
純資産合計	128, 468	131, 983		
負債純資産合計	157, 875	160, 627		

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

		(単位:百万円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	70, 178	57, 082
売上原価	29, 852	25, 280
売上総利益	40, 325	31, 802
販売費及び一般管理費		
給料	4, 754	4, 434
賞与及び賞与引当金繰入額	1, 083	1, 026
退職給付費用	353	443
研究開発費	4, 741	4, 862
その他	6, 960	6, 086
販売費及び一般管理費合計	17, 893	16, 853
営業利益	22, 432	14, 949
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	383	382
その他	92	49
営業外収益合計	481	439
営業外費用		
支払利息	13	12
為替差損	32	9
その他	40	18
営業外費用合計	85	40
経常利益	22, 829	15, 347
特別利益		
固定資産売却益	4	379
特別利益合計	4	379
特別損失		
固定資産除却損	45	38
減損損失	287	_
貸倒引当金繰入額	312	_
その他	6	5
特別損失合計	651	44
税金等調整前四半期純利益	22, 182	15, 682
法人税等	6, 627	4, 748
四半期純利益	15, 554	10, 934
親会社株主に帰属する四半期純利益	15, 554	10, 934

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

		(単位:百万円)_
	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日
	至 2019年12月31日)	至 2020年12月31日)
四半期純利益	15, 554	10, 934
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49	1, 160
退職給付に係る調整額	99	162
その他の包括利益合計	148	1, 322
四半期包括利益	15, 703	12, 256
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15, 703	12, 256

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、2020年5月22日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を600,000株、2,938百万円取得いたしました。

なお、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は7,621,015株、26,303百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

- I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
- 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

		報告セグメント			四半期連結損益	
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)	調整額 (百万円)	計算書計上額 (百万円)	
売上高						
外部顧客への売上高	68, 390	1, 787	70, 178	_	70, 178	
セグメント間の内部 売上高又は振替高	l		_	l	_	
計	68, 390	1, 787	70, 178	_	70, 178	
セグメント利益(営業利益)	21, 330	1, 101	22, 432	_	22, 432	

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 (固定資産に係る重要な減損損失)

「薬業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては287百万円であります。

- Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
- 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)	(百万円)	計算書計上額 (百万円)
売上高					
外部顧客への売上高	55, 310	1,772	57, 082	_	57, 082
セグメント間の内部 売上高又は振替高				l	_
計	55, 310	1,772	57, 082	_	57, 082
セグメント利益(営業利益)	13, 899	1, 049	14, 949		14, 949

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報該当事項はありません。